### 神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第6章 患者の視点に立った質の高い医療体制の整備

第8節 開かれた医療の取組み

とりまとめ担当課:ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室

#### 1 課題に対するこれまでの取組実績

#### (1) 開かれた医療の取組み

- → AICS (アミノインデックス・がんリスクスクリーニング) を普及するため、平成25年度から、県職員(地方職員共済組合員)向け人間ドック、及び県内の教職員(公立学校共済組合員)向け人間ドックのオプションとして、AICS の受診の実施を始めた。平成26年度からは、これらに県職員の指定年齢健診も追加した。平成27年度には、国の地方創生交付金(地域消費喚起・生活支援型交付金)を活用し、県民が未病に関する商品やサービスを割引価格で購入できる事業(未病市場創出促進事業)の商品の一つとして採択した。
- → 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区や国家戦略特区の取組みを進めた。
- → 国際的な保健医療人材養成機関の設置に向け、有識者による設置検討委員会を開催し、 カリキュラムや教員の組織体制について検討を開始した。

### 2 参考指標の推移

取組	指標	指標名	単位	神奈川県				出典等
区分	区分		平114	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	山典守

#### 3 課題ごとの進捗状況の評価

#### (1) 開かれた医療の取組み

評価	$A \cdot (B) \cdot C \cdot D$					
	・県職員(地方職員共済組合員)向け人間ドック及び県職員の指定年齢健					
	診、並びに県内の教職員(公立学校共済組合員)向け人間ドックのオプシ					
評価分析	ョンとして AICS の受診の実施を始めた。					
	・開かれた医療の取組みを推進するため、神奈川発の規制緩和の提案を積極					
(取組の成果)	的に行った。					
	・国際的な保健医療人材養成機関の設置に向けて、有識者による設置検討委					
	員会を開催し、カリキュラムや教員の組織体制について検討を開始した。					

	・関連組織と調整し、 AICS の導入を実現させた。
	・保険外併用療養や病床規制に関する規制緩和が認定されるなど、着実に
	成果を出すことができた。
評価理由	・国際的保健医療人材養成機関の設置について、連携先との調整を進めると
	ともに、シンポジウムの開催により人材育成について検討を進めることが
	できた。
	以上のことから、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
	・更なる AICS 受診者数の増加に向けて、精密健診機関等の新規開拓を進め
	る。
今後の取組み	・引き続き、各特区事業の推進に必要な規制の緩和について、随時提案を
の方向性(29 年	行っていく。
度に向けた取	・国際的な保健医療人材養成機関の平成31年度開設に向け、カリキュラムや
組の方向性)	教員の組織体制等を決定するとともに、国内外の関係機関との調整等の
	取組みを進めていく。
	・引き続き、国家戦略特区等の取組みを推進し、規制緩和のメニューを活用
次期計画に向	した、高度な治療の提供や臨床研究を行いやすい環境の整備に取組む。
けた取組の方	・平成31年度に開設する機関において、超高齢社会を乗り越える、持続可能
向性	な新たな社会システムを形成するために取り組む県のヘルスケア・ニュー
	フロンティアを推進する人材を養成する。

# 4 総合評価

評価	評価理由
В	AICS の普及促進、各特区事業に必要な規制の緩和についての提案や、国際的保健医療人材養成機関の検討など、開かれた医療に係る取組みを着実に進めており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

# 5 特記事項